

## 児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2023年 2月 15日

事業所名 こどもサポート教室「きりり」北習志野校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5		法令に順守しており、1時間に3名までの受け入れで、ブースが3つしっかりと分けられています。	ブースごとに区切られているため、集中できる環境を維持していきたいと思います。
	②	職員の配置数は適切である	3	2	法令順守し、同じ指導員が続くこともなく、緊急時に関しても必ず誰かが居るのは安心できます。	法令で必要とされる配置数+1名になる様に配置されると良いと思います。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5		臨機応変に支援ブースを区切ることで、児童の特性に合わせた対応をしています。また、空間を仕切ることでより集中力を高めやすい環境となっています。	インターフォンなどをつけることで、さらに情報伝達（来校者・不審者）の質は良くなるように感じます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5		日々の業務の中で、清掃時間を設けており、清潔な空間を心掛けています。気候に合わせてエアコンや空気清浄機も使用しています。	感染症感染拡大防止として、換気や、支援後には必ずアルコール消毒を行っています。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5		定期的に会議を行い振り返ることで、適切な目標を設定することができています。	その都度、職員同士で話し合う機会を設けています。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5		年に一度実施する保護者からの事業所評価をもとに、頂いたご意見に対し事業所内で話し合い、出来ることから改善に向けて努めています。	12月初旬に、令和4年11月までにご利用された方を対象に事業所評価を行わせて頂きました。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5		評価の集計結果をホームページに掲載すると同時に、支援スペースにもファイリングしたものを用意	職員間でもアンケート結果を踏まえ、改善を随時行っていきたいと思います。

				し、保護者がいつでも閲覧できるように対応いたします。		
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5		コロナウイルス感染拡大防止の観点から今年度実施は行っていません。	令和2年より療育支援課による巡回訪問にて保育士資格を有する方からのご意見を頂戴し、今後のサービス提供の改善へとつなげております。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	1	自教室による事業所内研修、他教室との連携による事例検討会、発達支援研究所によるウェビナー研修など定期的実施しています。	コロナウイルスや感染症が落ち着いてきたら、研修会等への参加を行っていききたいと思います。オンライン会議などを利用する場合があります。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4	1	日々の引き継ぎの中で保護者と話すことによりアセスメントはその都度行っていますが毎回は記録として保管は出来ていません。	ニーズの多様化や、保護者様、ご利用者様の安心安全な場の提供を目指し、今後もしっかりとコミュニケーションを図っていききたいと思います。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5		情報共有が出来る様、データ化やツールを用いて支援を行っています。	初回アセスメントシートに加え、定期更新の書式を使用しております。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	3	2	「発達支援」では具体的な支援内容（家庭環境・地域における立ち位置を踏まえ、今何をすべきか話し合い、目標を決め内容を設定）を記載しています。	「家族支援」「地域支援」に関しては、不十分な感じを受けるため、今後は文章表現として目標に盛り込んでいくことで、項目を網羅できるのではないかと思います。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5		支援によってばらつきが出ないよう、支援の度に支援計画を確認し、計画に基づいた支援プログラムを行っています。	支援を行う職員が毎回違う事がデメリットにならない様に一貫した支援の方向性や枠組みの共有は行っております。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	5		基本的には一人一人がプログラムを考えていますが、指導員間でしっかりと情報を共有し、支えながら日々支援を行っています。	支援内容の話し合いや、職員間での情報共有をしっかりと行っており、チームとしての支援を行っています。

	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5		同じ指導員が続くことが無いよう調整した上で、以前の支援記録を確認し継続支援の下実施しているプログラム以外は内容が被らないよう配慮しています。	職員が毎回変化することで、活動内容の固定化を阻止しています。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	4	1	個別支援に特化しており集団活動の機会を必ず確保できるわけではない為組み合わせた立案は行っておりませんが、保護者の希望に含まれることもある為、時間等を工夫して小集団の時間を設けることもあります。	個別支援の事業所から、コロナウイルスの影響で支援計画には盛り込んでおりませんが、必要に応じて活動に取れ入れております。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5		毎朝朝礼を行い、前日の引継ぎや当日の注意点、シフト調整などスタッフ全員で共有しています。	どのようなねらいをもって課題を組んでいるのかなど、より詳しく職員間で共有しています。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5		当日、もしくは翌日に引継ぎや保護者の話、気になったこと、変化などについてスタッフで共有しています。	引き続き職員全員が、ご利用者の情報不足にならない様に徹底した情報共有を行ってまいります。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5		支援記録は出来る限り早めに記載し、日々の支援の記録から指導員同士で改善点等を共有しています。	引き継ぐべきことはしっかりと記録しています。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5		利用児童に対し少なくとも半年に一度は計画の見直しを行う為、毎週モニタリングの時間を確保し支援方針の見直し・振り返りを行っています。	利用者に対しての最近の様子などを踏まえて会議を行えています。
関係機関や	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5		相談員からの呼びかけに対し、管理者・実際に支援を行っている指導員が参加しています。	管理者だけではなく、現場の指導員の意見も踏まえたサービス内容が作成出来る様、これからも行っていきたく思います。

保護者との連携	②②	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5		子育て支援センターや相談員の関係者の皆様と情報を共有しながら支援を行っています。	定期的に相談員の関係者様とも連携を行い、しっかりとした支援情報共有を行いながら日々の支援に今後も邁進してまいります。
	②③	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		5	医療スタッフがいないため、医療的ケアが必要な児童の受け入れに際しては、主治医等の意見書を確認したうえで慎重に判断し対応いたします。	必要に応じて行っております。
	②④	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		5	医療スタッフがいないため、医療的ケアが必要な児童の受け入れに際しては、主治医等の意見書を確認したうえで慎重に判断し対応いたします。	必要に応じて行っております。
	②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5		保育園の先生から見学の依頼等がある場合には支援内容を説明し、情報共有して相互理解に努めています。	コロナウイルス感染拡大が収まり次第、共有できれば良いかと思っております。
	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5		小学校等に訪問させて頂きながら、先生方や保護者様との情報共有や支援の方向性を確認して相互理解に努めています。	コロナウイルス感染拡大が収まり次第、学校公開等も参加できれば良いかと思っております。
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	1	他事業所との意見交換や交流し、とても勉強になりました。本年はコロナウイルスの感染拡大の防止の為、見学会等に参加できていません。	必要に応じて行っております。
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	3	2	個別支援の為厳しいが利用家族を通して保育園や幼稚園等と関わる機会があります。	コロナウイルス感染拡大が収まり次第、必要があれば行うことが望ましいと感じます。
	②⑨	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		5		療育児施設会議への参加が現状出来ていませんが、時間をつくり、少し

					でも参加できたらと思います。	
	⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		日々の引き継ぎの時間に、支援の様子や最近のお子さんの様子を話し、保護者との情報共有を行っています。	日々の引き継ぎを通して、支援での様子や成長について共有をしています。
	⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	2	3	日々の引き継ぎの時間に困りごとを聞くなどはしていますが、保護者への家族支援プログラムは行えていません。	どのようにプログラムを進めていくのかを学ぶ機会を探し、スキルアップにつながれたらと思います。
保護者への説明責任等	⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5		面談や契約時に管理者が丁寧に伝えています。また、フリースペースに資料集を閲覧できるように設置しています。	今後管理者のみでは無く、指導員も説明出来る様なサポートを講じていきたいと思っています。
	⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5		面談で話したことを基に支援計画の原案を作成、体験の際に保護者に意見を求め確認しながら本案を作成、提示し説明を行っています。必要な場合は手直しを行い、承諾を得ています。	同意を得た後でも、保護者様やご本人様のニーズに合わせ、いつでも見直しや修正を承っております。
	⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	1	日々の引き継ぎ時に最近困っていることなどを伺い相談に応じています。	日々の引き継ぎ時以外にも、保護者との面談などが取れる様にさせていただきます。
	⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		5	現時点では保護者向けの会などは出来ていません。	コロナウイルスの感染拡大が収まり次第、小集団のイベント時などに、保護者スペースを確保し交流の場として提供していきたいと思っています。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5		要望に対して、まずは傾聴し迅速に取り組めるものから順次取り掛かり対応しています。	今後さらに、周知していき、より良い信頼関係が築ければよいと感じます。
	⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	2	3	ホームページの校舎ブログは定期的に更新し校舎のイベント	LINE やブログを活用し活動の様子や写真を発信しております。
	⑱					

				情報などを発信しています。 また、LINE の機能を使用し情報を発信しております。		
③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	5		個人情報に記載されているものに関しては鍵付きのロッカーに保管しています。 書類などに関しては他利用者の目に触れないよう配慮しています。	支援中の事務机上のパソコンや個人ファイル等の管理方法をスタッフ間で確認し気を付けてまいります。	
③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5		目線を合わせる、口元を見せる、紙に書く等、お子さんの状態に合わせて配慮しています。	発語が難しい利用者様に対しては、コミュニケーションボードを活用しています。	
④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5		地域に開かれた事業運営は行えていませんが、開校時には外部向け体験会を実施しました。 継続的に近隣地域とも繋がれると良いと思いますが難しいと感じます。	地域の中での行事等もコロナウイルスの影響で減少し、より一層難しいと感じています。 機会があれば、積極的に参加させていただきま	
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5		マニュアルを研修や毎月の防災訓練で確認し、発生を想定した訓練を実施しています。	保護者向けにフリースペースにマニュアル関連資料を設置しています。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5		定期的に防災避難訓練を計画、実際に避難先まで移動することで危険個所を把握し、災害時を想定した訓練を実施しています。(職員のみ)	職員だけでなく、お子さん保護者を交えた防災避難訓練を計画、実際に避難先まで移動することで危険個所を把握し、災害時を想定した引き渡し訓練を実施しています。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5		面談の際に書類に記入をしていただいています。	お子さんの基本情報を一覧表で管理し、定期的に確認をしております。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5		食べ物の提供は行っていませんが、食べ物に限らずアレルギー全般に関しても一覧表で管理しています。	食事介助は行っていませんが、契約時アレルギーの有無を確認しております。

④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	ヒヤリハットが起きる度に報告書を作成し、事業所内で改善点を話し合い情報共有しています。 自校舎だけでなく他校舎の事例も同様にファイリングし、危機管理意識を高めています。	ヒヤリハットにあたる事例が発生した時には、その都度共有・研修を行い、対応の確認を行っています。
④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	マニュアルを策定しスタッフ間で情報共有しています。 事業所内外で虐待についての研修を受ける機会を設けています。	従事者一人一人が互いを見て、より適切な声掛けや対応について日々確認しています。
④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5	身体拘束についての情報共有や説明は出来ていますが、該当児はいません。	虐待に関する考え方が厳しくなっている現在、しっかりと理解したうえで対応してまいります。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2023年 2月 15日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」北習志野校 保護者等数（児童数）：17 回収数：13件 割合：76.4%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	1 2			1	もう少し広い会 うペースで体が 動かせるると良 い。 子どもの活動に 合わせて臨機応 変にとっていた だいている。	身体を動かす際は、パ ーテーションを動かし、 十分なスペースを確保 するなど、安全に配慮 いたします。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	1 1	1		1	忙しそうなので もう少し人手が あってもいいと 思う。 丁寧にしてくれ ている。	支援させて頂くという 気持ちを忘れずに特性 について学ぶなど知識 向上を心がけてまいり ます。専門性を磨き、 メリハリをつけた支援 を提供いたします。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	1 3				危険も少なく安 心できるスペー スとなっている。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	1 3				とても明るく清 潔な空間で安心 して活動させる ことができる。	
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	1 3				いつも親身にな り状況を聞いて くれ、計画を作 成することがで きた。	
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	1 3					日常生活の充実につな がる活動（発達に応じ て必要となる基本的な 生活動作）と遊びなど の活動を通して成功体 験の積み重ねに配慮し 支援内容を設定してい ます。 家族支援・地域支援に 関しては必要に応じて 文章表現として支援計 画に盛り込んでいきま す。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	1 3				子供の成長に合 った内容を行っ てくれている。	

	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	1	1		1	色々考えたプログラムで子ども飽きずに通っている。 柔軟に組み合わせて支援されていると感じているので、ある程度の固定化は問題ないと思う。	引き続き、お子さんそれぞれに見合ったプログラムを検討して実施してまいります。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	1	9	3	現時点で交流を希望していないため問題無い。	必要に応じてきりができることを検討してまいります。
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	1	2		1	丁寧な説明があったので安心できた。	
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	1	2	1		丁寧な説明があり安心できた。 現在の支援計画には満足している。	
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	4	2	2	5	現時点で交流を希望していないため問題無い。	必要に応じてきりができることを検討してまいります。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	1	2		1	毎回内容を伝えてくださるので安心している。 もう少し話が出る時間が欲しい。	引き続き、感染症拡大対策のためフィードバック用紙を用いたフィードバックを行ってまいります。 必要に応じて電話やLINEでのフィードバックや保護者様のお話を傾聴する機会を設けるなど体制を整えてまいります。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	1	1		1	もう少し支援後に話が出る時間が欲しい。	日々の引き継ぎの際に、気づいた点や今後へのアドバイスなど伝える機会を設けていきます。また、必要に応じて電話やLINEでのフィードバックや保護者様のお話を傾聴する機会を設けるなど体制を整えてまいります。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1		1	1	保護者会などはないと聞いているため特に問題は無い。 あれば参加してみたいと思う。	外部機関のサポートを探すなど、保護者が集まり話をする機会を設けていきます。

	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	1	1		1	相談しにくさを感じていない為、問題はないと思う。親身に話を聞いて下さるので、安心してお願いしている。	頂いたご意見に対して適切に対応するため、体制を整えてまいります。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	1	2		1	心配な事を共有していただいております、不安なく毎回入ることができる。	
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	4	1	1	7	普段見ないのでわからない。	校舎ブログの更新や、LINE等のSNSを通じ保護者へ通知し、校舎の取り組みなどをお伝えしてまいります。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	1	2		1	利用開始時に説明を受けた。	
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	1	1	1	1	避難場所などの説明は受けた。予定が掲示（パウチ）されているのは見ている。	
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	1	0		3	避難場所などの説明は受けた。予定が掲示（パウチ）されているのは見ている。	
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	1	3			楽しみな様子。「きらり」と聞くとニコニコしている。毎回楽しかったと話している。	引き続きお子様が楽しんでいただけるプログラムを提供いたします。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	1	3			弟にまで親切に対応して貰えてありがたい。丁寧に行って貰っていて満足している。もう少しお話する時間があっても良いと思う。	引き続きお子様が楽しんでいただけるプログラムを提供いたします。必要に応じて電話やLINEでのフィードバックや保護者様のお話を傾聴する機会を設けるなど体制を整えてまいります。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。